

軟性下疳及び其横痃 Nicolas-Favre 氏病性下疳及び横痃に就き兩者の診斷並に療法に關し、文獻並に最近一ヶ年間の著者の經驗とを基とし概括的に述べて居る。

追加 下疳及横痃

柳原 英

横痃の類症鑑別即ち横痃の病原を決定する目的を以て軟性下疳性横痃中よりは菌検出の爲培養を行ひ、尙種々な菌種を以て「ワクチン」を製し皮内反應を試みて居る。淋菌性横痃の診斷に對しては皮膚反應を行つて居る。尙 Nicolas-Favre 氏病に於けるフライ氏反應を述べ且眼底検査との關係を一言して居る。單純性横痃に於ては連鎖球菌及葡萄球菌の「ワクチン」並に「ロクチゲン」に依る皮膚反應を行つて居る。

追加 下疳及横痃

橋本 喬

一九二三年より一九三二年迄の一〇年間に於ける軟性下疳及横痃二一四例の統計的觀察を行つて居る。

追加 下疳及横痃

内田 東明

デニクレー氏桿菌の培養を述べ、伊東氏反應に就き詳述し最後に治療に就き一言して居る。

皮膚科泌尿器科雜誌 第三八卷二號

(昭和十年八月)

所謂腎孟外溢流像に關する文獻的檢討(第二報)

志賀 亮

稻本 三郎

小室 秀一郎

腎孟外溢流像は腎盂破綻(角狀影像)、實質内溢流(劃線影像)腎盂腎門溢流等の結果と觀られ、靜脈性逆流像は腎盂靜脈逆流現象(「アーチ」狀影像)及下行性腎盂靜脈逆流現象を以て説明し、細尿管性逆流に就ては著者等も可能なる事を力説して居る。所謂索狀影像に就ては腎盂淋尿管性逆流像と做すべきであると。

皮膚に於ける化膿菌の研究(第一報)

葡萄球菌凝集反應及び補體結分反應の臨床的意義

村木 剛太郎

著者は化膿性皮膚疾患に於ける葡萄球菌凝集反應並に補體結合反應の臨床診斷上の意義如何を究めんと欲し、兩反應を並施し得たる多數の臨床例中より、成績確實なるもの五〇例を摘録し其の成績と臨床症狀との關係、菌の生物學的性状との關係に就き考察し、更に皮膚健康人血清及實驗家兔に於ける成績と比較對照したる結果に基き、上記兩反應は臨床診斷上意義あるものと結論して居る。

「ウログラム」の生物測定學的觀察(第一報)

腎孟容積及び「ヒエログラム」上の腎孟面積に就て

並木 重郎

山之内 秀三